

平成21年度京都府内市町(組合)教育委員研修会 開催結果概要

1. 日時等

* 日時 平成21年11月4日(水)午後1時30分～午後5時

* 場所 ルビノ京都堀川「平安」

2. 参加者

府内市町(組合)教育委員 90名、府教育委員 6名、府職員等

3. 目的

京都府における教育行政の推進について理解を深めるとともに、教育委員の責務を一層認識し、併せて府教育委員会と市町(組合)教育委員会との連携を強化し、もって教育行政の円滑な推進と市町(組合)教育委員会の充実発展を図ることを目的としています。

4. 実施内容

* 講演

「京都府総合教育センターにおける人材育成の支援について」

総合教育センター 山口恭一所長

「信頼ある学校を創る」

総合教育センター 山本岳教育相談部長

京都府総合教育センターの取組として、人材育成支援や学校に対する保護者からの苦情対応について、具体例を挙げて説明がなされました。



* 意見交換

「これからの京都府の義務教育の在り方について」

6つのグループに分かれて、「これからの京都府の義務教育のあり方について」という幅広いテーマで意見交換を行いました。

「社会総がかりの教育」「学力向上」「体験活動」「学校の統廃合」「教育委員会の

活性化」等、教育の果たすべき役割や今日的な教育課題に関する意見が多く出され、活発な意見交換が行われました。



* 少年の主張

「気づいてほしい幸せ」

少年の主張京都府大会（府教委・府地教委連後援）で知事賞を受賞した南丹市立美山中学校2年の大野扶美可さんが発表。

幼い頃に母を亡くした経験から、「おかえり」「ただいま」と声を掛け合える家族がいることを当たり前と思わずに、改めてその幸せに気づいてほしいという思いを訴えました。



5. アンケート結果から

今回初の試みとして実施した意見交換については、会場の都合による聞き取りにくさや時間の短さなど運営については指摘があったものの、内容そのものについては、「他の市町の実践を聞くことは非常に参考になった。」「自身の教育委員としてのあり方を見つめ直す機会になった。」「今後も共通する教育課題について対話する機会を持ちたい。」など、今後も積極的な議論の場を求める声があがりました。

もう一つの新たな試みである少年の主張についても、「大変感動した。」「このような生徒を育てることこそ教育の使命である。」などの声が寄せられています。

また、学校に寄せられる保護者からの苦情について具体的な事例から対応策を示した府総合教育センターの講演についても、「具体的でわかりやすかった。」「ぜひ現場の先生に聞かせたい。」という声が寄せられました。